

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和6年1月9日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 1月 睦月 January 第25号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【令和5年度 3学期 始業式 式辞】

まず 年明け、1月1日元旦におこった能登半島地震、
そして、被災地への救助活動に向かう羽田空港での飛行機事故で命
を落とされた方々に、生徒のみなさん、先生方と 黙祷を捧げたいと思います。



年明け1月1日午後4時10分ごろ最大震度7、マグニチュード7.6を観測した能登半島地震が起きました。その頃、みなさんは、どこでどのように過ごしていましたか？石川県能登地方では、家が倒壊したり、津波の被害にあったりして避難所での生活を余儀なくされている方々、ライフラインがストップして、冷え込みのきびしい中生活に困難を抱えている方々への災害救助、物資輸送等の支援活動が続いています。

新型コロナ感染がようやく落ち着き、何年かぶりに帰省した家族団らんの楽しいはずのお正月の時間を、日常を、自然災害に奪われました。昨日の報道では、避難生活2万8千人から3万人とありました。また、昨日の20歳の祭典、学校では本日から始まるはずの3学期、甚大な被害のある中では、目処が立たず延期となるようです。

安心して過ごせる生活環境があって、日常生活ができて、今日こうして始業式が迎えられるみなさんにできることはなんでしょうか？

まずは、当たり前だと思っている日常に改めて感謝して欲しいと思います。そして、自分の置かれている立場でしなくてはならないことを一生懸命に取り組んでください。

さて、今年、辰年です。干支の中で唯一架空の生き物である辰は、神様と人間をつなぐ使いとされ、「運気が上昇して夢が叶いやすい年」また、「変革の年」、「挑戦の年」といわれています。特に、今年「甲辰（きのえたつ）」のなので、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」という縁起の佳い年とのことです。ぜひ、明確な目標をもって行動し、自分の良いところをぐんぐん伸ばして、柔軟な発想力を磨いて何事にも挑戦し、大きく成長する年にしていきましょう。

今日から始まる3学期は、1年生は先輩になるための「2年生0学期」、2年生は、最高学年になるための「3年生0学期」です。3年生は、この3月で、義務教育を終了し、自分の選んだ道を生きていくこととなりますから、自分自身で選んだ進路が実現できるよう勇往邁進するのみです。いずれも、3学期は、4月からの生活に向けて準備をする大切な時間です。

昨年12月に、ようこそ先輩プロジェクトで、阪神タイガースの打撃コーチの北川博敏さんにご講演いただきました。全学年のお礼状を北川さんに送る中で2年生のふたつのお礼状に目がとまりました。ひとつは、「北川さんが夢を叶えるために意識してきたことに『我慢すること』が入っていたことです。自分がしんどい、苦しいと思った時こそ我慢してそれをやり続けることが力になるということを学びました。」ふたつは、「『努力は自分で認めるのではなく、他人から認められた時に努力になる』ということばです。他人から見て変わっていなかったら意味がないんだと教えて、もらいました」とありました。プロとして社会で活躍しておられる荒牧中学校の先輩から教えていただいたことを自分事として受け取って、意識をしながら生活すればおのずと日常に変化が現れ、結果や成果につながっていくと思います。自分の最大の敵は自分自身です。自分に負けないよう頑張ってください。

最後に、3学期は、**節目(卒業式の日、修了式の日)の迎え方**にこだわってください。卒業式の日、「この学校で良かった。」「この学年で良かった。」クラスが終わる卒業式、修了式の日、「このクラスで良かった。」と終われることは、次への大きなエネルギーとなります。人生の節目の日、終わりに感謝し、始まりに希望をもつ気持ちを大切にしてほしいと思います。

【土曜スクールのお知らせ】

1月20日、27日、2月3日の土曜スクール(9時~12時)では、3年生の面接指導を予定しています。地域のボランティアのみなさんが協力してくださり、本番さながらの練習をしてくださいます。3回全ての参加ができなくてもかまいません。推薦、特色、私学受験で面接がある人は、是非とも参加してください。